

身近な区民の代弁者として、皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます



千代田区自由民主党議員団

池田ともりの 区政 レポート

第13号
平成31年春

～誰もが親しめる政治を～

2015年4月に当選してから、 皆様からの声を区政にとどけ、 その実現に向け活動してまいりました。

池田とものりの政策理念として掲げました、「5つの約束」…「子育てちよだ!」「安心ちよだ!」「元気なちよだ!」「健康ちよだ!」「安全ちよだ!」につきましても、実現へ向け活動しております。

また、区議会は私池田とものりが当選してから、この4年で16回開催され、内、14回に於いて一般質問に立たせていただきました。少し

ずつではございますが、質問・提案事項が形となりはじめております。主に下記項目について継続的に質問をいたしました。全てお互いが相互に関係しあい、より良いものへと改善・整備されていくものと感じております。

4年間のまとめとして、一部抜粋してご報告いたします。

配慮のあるまちづくり

- バリアフリーマップ
- トイレの整備について
- バリアフリー化へ向けて

1

バリアフリーマップ

高齢者の健康

- 認知症対策
- かがやきプラザの利用

2

教育、子育て、施設の活用

- 図書館
- 発達支援の拡充
- 多世代交流
- 食育

2

防災・防犯について

- デジタルサイネージ
- 録音機

3

1 トイレの整備について

「案内表示、清掃時間帯の見直し、清潔で快適な空間の維持管理の改善」「公衆・公園トイレの整備」「誰もが安心して利用できるトイレの環境整備」等の質問をいたしましたところ、早急な対応がとられました。

「東京2020大会に向けて今後も区内の公衆・公園トイレの整備を加速的に進めてまいります。また、民間トイレの活用に向けても引き続き調査・確認をし、協力を求めています」と回答をいただきました。



牛込見附公衆トイレ

2 かがやきプラザの利用・多世代交流

高齢者から子どもはもちろん子育て中の方の利用、福祉人材確保、スキルアップのための研修室など多岐にわたっての利用、区民への告知などについての対策を伺ったところ、「子どもから高齢者まで、施設で集い、出会い、交流する機会や場となるような事業を実施していく」との回答をいただきました。

また、かがやきプラザでは、「孤食の解消」の一助として、多世代交流食堂・かがやキッチンが開催され、大学生ボランティアの活躍の場も広がってまいりました。多世代交流の場、機会となる大切な場所と認識し、今後も継続的に働きかけてまいります。



3 録音機

特殊詐欺から
守る強い味方!
自動通話録音機



千代田区内にお住まいで、65歳以上の方が居住する世帯に、無料で設置します!

自動通話録音機とは、電話がかかってくると自動で警告メッセージが流れ、通話内容を録音する機器です。

ご希望の方は池田もしくは下記問い合わせ先まで

お問い合わせ

千代田区保健福祉部 在宅支援課相談係
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-10
高齢者サポートセンターかがやきプラザ
TEL:03-6265-6483 FAX:03-3265-1163
Mail:zaitakushien@city.chiyoda.lg.jp

還付金詐欺にご注意ください

区の職員を名乗る者から、「区から還付金の申請書をお送りしましたが、まだ提出されていません。電話で受け付けるのでお客様の取引銀行名を教えてください」といった電話が区内にお住まいの方にかかっています。

区の職員が、このような電話をすることはありません。同様の電話があった場合は、還付金詐欺の可能性がありますので、相手の質問に答えることなく、すぐに110番通報してください。

千代田区役所 保険年金課・消費生活センター

千代田区安全・安心メール
設定変更・配信停止・情報閲覧はこちら

<http://mail.bousai.city.chiyoda.lg.jp/top.html>



行政視察

若い世代の防災意識をより 高めるために避難所防災訓練に 小中高生を参加させては?

子育て文教委員会が視察で訪れた岩手県では小中高生の自助、共助の防災意識を高める防災教育が実施されています。「小中高生による避難所訓練が実施されている地域があ

る。本区でも実施したらよいのでは?」に対し、「本区でも『未来の防災リーダー』と題し、防災体験を実施している。小中高生が避難所開設訓練に参加することで若い世代の方々が増えることを期待。家庭内での防災意識をさらに高めるためにも今後も積極的に取り組んでまいります」との回答をいただきました。継続して見守ってまいります。



平成31年第1回 区議会定例会において 一般質問を行いました！

次世代育成支援について

学習や日常生活をするうえで補聴器が必要（身体障害者手帳の対象とならない聴力）な児童でも、片耳難聴の場合には補聴器購入費用の助成を受けることができません。**中等度難聴児発達支援事業**の対象者になりません。片耳難聴の場合は片方の耳で聞くことができるため、両耳難聴と違い補聴器の必要性を感じる人が少ないということもあるようです。ですが「聞こえていない耳の方から危険が迫ってきても対処ができない」「話しかけられてもわからない」といったことがあるので、それを防ぐ意味でも補聴器は必要です。学校生活ではどうでしょうか？座席を前にしてもらおうことで、室内では問題

なく授業を受けられても、校外学習・グループ学習のように多方面から聞こえてくる状況では同様に聞き取ることができるのでしょうか？また、片方の耳からしか聞こえないという障害は話すことはもちろん方向感覚にも影響が出ると言われています。友達同士の会話でも聞き返しが多くなり、相手に嫌な印象を与えたり、集中しなければならないため疲れたり、ストレスを感じたりします。また、弱視・色覚障害を持つ視覚障がい児への補装具の支給には、難聴と同様、上限があり事前の相談が必要となります。弱視眼鏡等の購入については健康保険制度による給付が受けられ、一部の自治体で



は助成制度を導入しています。今後は歯科矯正治療への助成も考える必要が出てくるのではないのでしょうか？

池田

千代田区独自の次世代育成支援として助成制度の見直しなど、未来を担う子どもたちへの支援の輪を広げてはどうかと考えますが。

回答

助成制度は諸条件あるが片耳難聴の児童は対象外である。他の自治体における取り組み内容を把握するとともに、本区でのニーズ把握に努める。歯科矯正治療への助成も併せて今後の検討課題とする。

障害を持つ子どもの、成人以降も切れ目のない継続した情報管理について

区立**子ども発達センター「さくらキッズ」**を中心に相談や療育支援を行ってきた実績から、平成31年度は障害児ケアプランとして、妊娠期から18歳までの切れ目のない支援を提供する体制を整えるための新規予算が計上されました。保護者とともに地域で安心して暮らしていくための取り組みは各種

サービスの充実など、これまで以上に関係機関との連携が強化されることと思います。保護者からは**「切れ目のない支援」**というのは担当部署が切り替わる18歳以降もこれまでの情報がしっかり引き継がれていくのか、という点が心配されています。障がい児から障がい者として生活が始まる中、

「本人が相談する環境が整っているのか」「障害者手帳を所持していない方を含め、今後増え続けていく障がい者への対応は十分なのか」「区内に住み続けるためのサポートはどの程度なのか」不安はつきません。

池田

「障がい児支援」と「障がい者福祉」が切れ目のない支援になるよう一括した情報管理やサポート体制について見解をお聞かせください。

回答

保護者の意向や状況を把握し、ライフステージごとにプランを作成する。子どもと保護者の将来的な不安を取り除き、生涯にわたって情報管理を徹底し地域で安心して暮らしていける体制ができるように努める。

特色ある食育の推進について



江戸エコかるた

平成29年第1回定例会において食品ロスの削減を食育として取り組むことについて伺いました。世界中で問題視されている課題として、その必要性について認識されていることと承知しています。「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」が設立され、12月には区内徒歩圏にある連携する5つの大学がシンポジウムを開催しました。そこで紹

介されたのが、**「江戸エコかるた」**です。「江戸エコかるた」は江戸時代に現在でいう「エコ」な暮らしが様々なところで実践されていたことに着目し、東京家政学院大学現代生活学部現代家政学科の学生によって作成されたものです。現代社会において問題視されている**「食品ロスの削減」**にも江戸時代の知恵を活用できることを知ってもらうためです。同大学、家政学科教授は、「江戸の知恵は千代田の知恵」のコンセプトの元、このかるたを活用することで「食品ロスの削減」を食育につなげ、千代田ならではの「食品ロスの削減」、千代田らしい食品ロス削減活動として呼びかけています。子どもから大人まで多くの区民の意識も高ま

るのではないのでしょうか。また、最近ではアプリを利用した**フードシェアリングサービス**の取り組みが進んでいます。飲食店側は、廃棄される予定の商品を割安の価格とはいえ売ることができ、廃棄にかかるコストが利益につながります。利用者側は値引きされた価格で商品を購入することができます。この取り組みにより本来は廃棄されてしまう予定の食品を購入することで、気軽に社会貢献ができます。多様な飲食業界やそこを利用する企業や住民で活気ある本区でもこのようなスマホアプリを利用したサービスは今後展開が予想されます。進んで取り組みをサポートしてみたいかがでしょうか。

池田

歴史ある千代田区の特性を活かした視点や屋間人口の多いことをふまえ、千代田区らしいアイデアで「食品ロスの削減」について考え、食育の推進につなげてはいかがでしょうか。

回答

区民の皆さんには食品ロスの削減をテーマとした情報発信・啓発コーナーを設けるなど関心を持ってもらう場を提供していく。千代田区ならではの啓発の取り組みについて家庭でも企業でもわかりやすい事例として実現の可能性を検討していく。

平成31年度の予算が可決しました。

各会計新年度予算案が編成され、昨年度に続き過去2番目の規模の予算案が議会に示されました。連日遅くまで審議を行い、特に文化財保護に関しての審議には熱のこもった議論が

行われました。審議の中で、区民からの指摘で貴重な文化財の保管や台帳整備が十分でないことなどが明らかになり、委員会では新年度予算の執行にあたり、**文化財保護に関する附帯決議**を全会一致で可決いたしました。一方で、「国保料の引き下げ」や「がん検診の無料化」「共生社会の実現」に向けた様々な新事業など区民の皆さんの要望に沿った施策が予算化

されたことは評価できるものであります。また所属する「オリンピック・パラリンピック対策特別委員会」では閉会にあたり、委員会提出議案として『東京2020パラリンピック競技大会に向けた意見書』を、バラスポーツへの理解、応援、支援を求めるものとして全会一致で可決、提出いたしました。

公式ホームページでも最新の活動を随時配信中です！ www.ikedatomonori.net

<池田ともり PROFILE> 「子育て文教委員会(常任委員会)」 「オリンピック・パラリンピック対策特別委員会」 「区議会だより編集委員会」

★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業 ★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業
★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業 ★平成6年 「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役
★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長 ★平成15年～26年・30年～ 千代田区スポーツ推進委員 ★平成25年～29年 共立女子学園後援会副会長
★平成26年 千代田区ドッチビー協会会長 ★千代田区相撲連盟顧問 ★平成29年度・30年度 共立女子中学高等学校PTA会長
★平成30年度 共立女子中学高等学校 後援会会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッチビー(指導・審判員資格取得)

池田ともり事務所

〒102-0071 千代田区富士見2-15-8-902 TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com



池田ともり
公式アプリ公開中!!